

「M情報デスク」サポート団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の違法行為を告発する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 119
 【発行・編集】
 MASUKI情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

拉致、尖閣・竹島・北方領土問題 ネックは9条 憲法改正!

「昭和二十一年十一月三日に公布され翌の五月三日に施行された日本国憲法は一度たりとも改正されず現在に至っている。そもそも「日本国憲法」は、占領軍総司令官であるダグラス・マッカーサーが一週間で作った草案を陛下の命を人質に我が政府に押し付け、当時の国会議員たちが悔し涙を呑みながら成立させた代物である。また被占領国にいかなる憲法を押し付けてもならないと規定したハーグ条約に違反していることは明確である。昭和二十七年四月二十八日、我が国はサンフランシスコ講和条約をもつて、再び独立主権国家に戻ったにも関わらず、占領下に制定されたこの憲法を現在も機能させ続けているのは世界的見地からも異常なことである。

この度の大震災で多くの日本国民が苦難にさらされているなか、十万人もの自衛隊員の方々が今も被災地復興の為に全力で働いておられる。しかし、我が国の日本国憲法において、彼らの存在は過去六十年に渡って否定され続けてきた。更には、今も還らぬ北方領土や島根県竹島における韓国の不法占拠、北朝鮮による拉致事件、また最近では、昨年秋に起こった尖閣沖での中国漁船暴挙事件など、我が国が抱える国難の数々を鑑みれば、現行憲法を遵守し続けることは、主権、国益を守ることと相反するではないか。いつそのこと、現日本国憲法を無効にし、自主憲法を制定しようという意見があることも承知している。原理原則はその通りだと思うが、戦後教育に汚染された現在の我が国において、多くの国民が賛同するものではないと考える。ならば、現行憲法の不備を取り上げ、そのひとつひとつを改正する方策でいかねばなるまい。自主憲法の制定には程遠いが、右記、問題を早期解決するという現実的路線に立てば、現時点では「改憲」を訴える他なからう。

国際社会を眺めると、すでに新秩序が出来つつある。我が国は今、大きな転換期にあり、内外の変化に対応できる国家体制を布くことの重要性を否定する者はいないだろう。

そこで我々は、子々孫々に平和で繁栄した「日本」を残すため、あらゆる法体制の根幹である日本国憲法が抱える不備を周知し、改憲の国民意識を高めることを目的に、「憲法改正」を訴えるものである。

平成二十三年五月三日

街頭演説会 平成23年5月3日 午後3時〜4時半 難波高島屋前

<http://mid.parfe.jp/kanyo/kaikenkinen/top.htm> 改憲祈念の会 代表 藤島雄平



平成23年5月3日 ナンバ高島屋前 藤島雄平代表

駄文になるが、今、日本は平和だ。なぜ平和かと問えば、「平和憲法、とりわけ九条があるから。」と答える。ならば問いたい。「玄関に『私たちは乱暴者は嫌いです。皆さんを信じています。どうか泥棒さん、入ってこないで。』と張り紙でもしておけば泥棒は入ってこないのか。」と。「乱暴者が嫌い」と言うことは、押し入っても彼らは反撃はしてこない。と泥棒さんは思い、余計入ってくるのでは。今日本が平和なのは言うまでもなく、米国の『核の傘下』にいるからだ。核で守られながら『非核三原則』も滑稽な話だが。今回の大震災での米軍の機敏な行動をかんがえれば、ある程度はやってくれそうだが、有事に日米安保が何処まで機能するかはわからない。《12頁の段目へ》

統一地方選挙が終わった

選挙でここ1ヶ月、マ情報業務がほとんどストップしていました。やっと終わりホッとしています。そこで思いつくまま総括と反省をしてみたいと思います。投票日前日。木下吉信大阪市長に用事でお目にかかりました。

「増木さんは本当に選挙が好きやな。」と言われました。好きか嫌いかと言うと好きなんです。私が「選挙で世の中のすべてが決まる。だから何よりも大事。」というのが持論です。選挙で負ければ、その後でいくらデモをやろうが街宣をしようが、屁のツッパリにもならないと思います。それでもデモも街宣もやりませんが・・・また、行政を脅して権益を獲得した連中もいますがこれらは特殊な例外で、いい悪いは別にし、現実、議会制民主主義において選挙が何よりも大事だと思っています。

私の町の近所、箕面市で、山をくりぬいてトンネルを掘るのに20年かかりました。工事は数年ですが、話が決まるのに莫大な時間がかかったわけです。

政治は今日と明日は何もかわりません。世の中が変わる(何かができる)のに数年、数十年かかります。だから変化がわかりにくく「そんなかったるいことやってられるか。」と過激に走る人や「何も変わらない。」と政治に無関心になったりします。しかし、反対の意見もあるわけだし、また彼らも税金を払っている以上無視することはできません。時間はかかるが正攻法しかないということです。「お前(マスク)に言われたくない!」とみなさんおっしゃるでしょうが、あせ

らずに、1つ1つの選挙を大事にしているんじゃないと思います。

今回の選挙、スタッフジャンパーを5〜6枚ほど重ね着をしました。その報告。森脇保仁兵庫県議(自民 4回目)

選挙の事前説明会では無投票とのんびり構えていたが、4人目が名乗りを上げ急遽選挙。トップ当選、生涯最高得票数獲得は間違いない。しかし私は秘かに思っていた。2年後には市長選挙がある。現市長は知る人ぞ知る極左、土井たか子の愛弟子、辻元清美の盟友中川智子。また衆議院選挙がいつあるかわからない。そのとき、誰が出るかはわからないが、保守勢力が「宝塚市(選挙区)は森脇(保守)王国、立てるのを止めよう。」と思うくらい、投票数の6割くらい欲しかったのだ。予想通りの結果だったが、私の秘かな思いには至らなかった。残念。木下吉信大阪市長(自民 確か6回目)

「木下あぶない、木下あぶない」木下議員は祖父、父上ともに議長尾も勤めたベテラン議員。ところが一年前から「木下あぶない、木下あぶない」。これには根拠があり、従来より大阪維新が2名加わるという、超激戦区。私も「木下あぶない」と思った。木下に万が一があったら、私が事務長をさせてもらっている百人の会も崩壊しかねない。マジ心配し、微力ながらあちこちに「木下あぶない」と電話を掛けまくった。そして開票。トップ当選。私は悪名はさらに高まった。増木は大嘘つき。本人は「本当にヤバかった」といっているが・・・舌を引っかいてやりたい気分である。

北川悟司豊中市議(無所属 4回目)

選挙の2週間ほど前「手伝え」と要請があった。前回惜敗。今回は巻き返し。言うまでもなく声がかかるのを待っていた。そして選挙に突入。周囲の意気込みをよそに本人は至って呑気。パソコンの前に座っている。毎日票集めに歩くわけでもなく、街宣カーで駆け巡るわけでもない。日に日に周囲はイライラ。私はぶちぎれる寸前。盟友三浦氏も首を傾げる。そして投票日、開票。本人の予想通り2200票で当選。わが目を疑った。本人は出陣式で「前回の悔しさを胸に4年前から選挙活動を始めた。」と語ったが、本当だったのだ。その自信からくる「落ち着き」だったのではない。彼は告知日に盲腸で入院しても今回は当選していることを確信して言える。失礼ながら彼はますます国政に行く野望はないと思う。地方議員として「豊中を日本一の教育市に」と公約し真摯に職を全うしようとしているのではない。まさに王道選挙だった。足立将一吹田市議(吹田新選会 新人)

25歳の新人。私の携帯には「足立少年」とアドレス帳に記した。70票差で逃げ切り当選。選挙が終わって彼に真っ先に言ったことは「今回は告知日にたまたま盲腸にならなかったから良かったが、次回は入院しても勝つ選挙をしようぜ。」前期北川先生と全く逆のウルトラCチョー細道選挙だった。少々背景を話したい。吹田市の神谷宗幣議員(2回目)は私と同郷福井。私は福井のど真ん中。彼は福井の端のほう。彼は「地方から政治を変える」と今回当選した鈴木英敏三重県知事と竜馬プロジェクトを立ち上げ、そのモデルケースとして吹田市地域政党「吹田新選会」を結成し、盟友、石川勝氏を市長候補に擁立し自分を含め3

名の市議候補を立てた。足立候補は末弟。

まずは市長選の話。石川議員はもちろん親しい。そして橋本維新より井上哲也前府議。井上さんとも私は親しい。さらに阪口前市長は私の事務所の家主。いつも家賃を待ってもらっている関係。もう一人共産党がいたが、彼だけは思い切りつぶせる。結果は維新強しで井上候補が圧勝したが、私は三方股裂きというつらい目にあった。そういう事情があった。

以前から神谷氏に軍団の「一番ドンくさいやつを応援するから」などと冗談を言っていたが議員から選挙の半月ほど前に足立候補の応援を頼まれた。彼は神谷議員のインタース生として地方都市の政策は十分勉強している。神戸大卒でクレバー。性格温厚、風貌イケメン。全く非の打ち所がない。しかし選挙に一番肝心な個人票がない。生まれも育ちも大阪市内。小・中・高と同窓会名簿も使えない。太平洋の真ん中に糸をたれて魚を釣るような選挙をやらなければならない。知人友人を歩き回るのが選挙の常道と考えている私はアドバイスのしようがない。備品の準備や、街宣のポイントなどを話し、わずかな名簿で足を運ぶ程度。本人はそんなことは意に介さず、毎日毎日朝から晩まで街頭演説とポスティング。ここ一か月の彼の街宣は、街宣の神様土屋東京都議にも負けない。しかしここ二ヶ月程度の話。絶対量があまりに少ない。そんななかの選挙だった。投票日前夜十一時頃、足立候補と一緒に駅前に立つ。帰途を急ぐ人に「お疲れでした。どうか明日、選挙に行ってください。」なぜか「足立に一票を」と言う固有名詞は口から出てこなかった。選挙を極め、達観すると自分の名前などどうでもいいのでは。不肖増木、久々に青春させてもらった。

近々のニュース

■ 天皇陛下謁見／同性婚でも受け入れ
でいいか (社説) 世界日報 4月23日
先月下旬、シユリア・ギラード豪首相
が、事実婚のパートナーを伴って訪日、
同首相と共に、そのパートナーも天
皇・皇后陛下と御所で謁見、懇談した。
これについて、松本剛明外相は、パート
ナーとして「そのまま素直に受け入れた」
と説明し、特に懇談前に政府部内で議
論も無かったと述べている。

だが、首脳と一緒にあれば、そのパ
ートナーが事実婚であっても、何の議論も
なく受け入れるという姿勢には疑問を
抱かざるを得ない。

価値観欠ける外相の判断

訪日する首脳の国が、事実婚を社会的
に受け入れ、かつ首相のパートナーが事
実婚であっても問題にしないとしても、
わが国にとっては違和感がある。

「天皇は、日本国の象徴であり日本国民
統合の象徴」(憲法第一条)である。

謁見、懇談の前に検討は必要と考える。

同外相はまた、訪日する首脳が同性結
婚をしており、そのパートナーを同伴し
て天皇陛下との謁見を望んだ場合でも

「その方が(首脳の)パートナーであり、
その国でパートナーとして認められてい
る」ということは、重い事実として受け止
めたい」と述べ、天皇陛下との謁見を事
実上、認める発言を、本紙記者の質問に
対して行っている。

欧州では、昨年6月、アイスランドの
女性首相のシグルザルドッティル氏が、
長年のパートナーだった同性の脚本家と

結婚した。また、ドイツのウエスターウ
エ外相も同年9月、ボンで男性実業家
と同性結婚式を挙げた。

アイスランドでは昨年6月、同性結婚
を法的に認める法案が可決され、27日
に法律が施行された。

この日は同性愛者の権利を世界的に訴え
るキャンペーンが
行われる日でもある。

パートナーとして受け入れられていれ
ば、わが国の法律、価値観と相容れない
同性婚でも、その意向に従うという外相
の説明には、そうした事態がまだ起こら
ないとの判断があろう。だが、欧米では、
同性結婚を容認する動きが強まってお
り、そうした首脳とパートナーの訪日も、
十分予想される。

天皇、皇后陛下下は、東日本大震災の
被災地を訪問し、犠牲者に深い哀悼の意
を示し、避難所では被災者一人ひとりと
親しく会話されている。その姿勢が大き
な癒やしとして被災者のみならず、一般
国民に映るのは、両陛下がわが国の父母
として立ち、慈しみて抱こうとされてい
るからである。

両陛下のお姿の尊さは、伝統的な結婚
にしっかりと立っておられることと無縁で
はない。そうした両陛下のイメージが、
価値観を欠いた外相の判断により、損な
われるようなことは避けねばならない。

結婚制度大切に日本

欧州では、事実婚の容認で出生する子
供の5割以上が婚外子である国が増えて
いる。わが国では結婚制度を大切にし、

■ 石原氏「パチンコと自販機、考え直
そう」 2011.4.10 日経

「東京の力を国のためにささげよう」。

4期日の当選を決めた石原慎太郎氏
(78)は10日午後8時の0分ごろ、
東京都港区の事務所が集まった支援者
100人余りを前に呼びかけた。東日本大
震災の被災地に配慮し、当選後の万歳は
自粛した。

この日も防災服姿で現れた石原氏は次
の4年間の政策について「にれまでと」
同じことをやるしかないんだ」と強調。
防災分野では「震災で東京が完全な防災
都市ではないことが分かった。都民が安
心して暮らせるよう努力をしなくてはい
けない」と話した。被災地への支援は「要
望があれば何でもやります」と表明した。

また「パチンコと自動販売機は大きな
電力を使う。生活様式を考え直したら
いいんじゃないか」と節電を求める可能性
に言及。「自販機が無くなったって生きてい
ける」と強調した。震災対応の公務を優先
しほとんと選挙活動をしなかった同氏だ

婚外子の割合は1%にすぎない。事実婚
を容認する社会に移行することを、われ
われ日本人は望まない。同性婚も然りで
ある。

そうした価値観を体现される天皇陛下
への海外首脳のパートナーの謁見は、十
分に吟味が必要である

オカマ? オナベ?

どちらか知らないが、皇居にわけのわか
らないものを持ち込むな。「事実婚のパ
ートナー」って何じゃそれ? 早い話が
セックスフレンドじゃないの?

が、圧倒的な強さを見せて早々・・・

思想的な思いは横においておいて、と
りあえず、電力消費のピーク時の正午か
ら4時頃まで、パチンコを禁止にしたら
いいのでは。そもそもそのような時間に
パチンコへ行くことがおかしいのだ。

東京都が貧乏になる前にピーク時の節
電が最優先。どうしてもパチンコがした
いのなら、営業時間を夜中に延ばしたら。
先日「夜中にくたらん番組を止める」電
気がないのに!」とTV局にクレームを
入れたら、敵もさるもの「夜中は電気が
余ってますので・・・」ナル・ホ・
ド・・・。それならお屋のメロドラマを
止める。生活に最低限必要なものに電
気を回せ。電車を止めるより、パチンコを
止めるほうが先ではないか。お屋は看板
の照明も消そう。電飾看板の電気が消え
ていても看板は読める。電飾看板の上か
ら「営業中!」と紙でも貼っておけばわ
かるだろう。基幹産業への送電ストップ
は最後の最後的手段だ。

否、同姓では無理か・・・? (わけ
がわからない) の2乗???

以前にミナミのあるビルのエレベータ
ーでオカマちゃんと二人きりになった。
もちろん彼女(彼?)が悪戯をしたわ
けではないが、あの狭い空間に数十秒同
居しただけで私は汗びっしょり。

陛下が「汗びっしょりだった」と言え
るわけもない。

「オカマ? オナベ?」に市民権を、
などとは国会で、暇つぶしに議論するこ
とは許されても、2600年は絶対許さ
ないだろう。

私にも話せなかつたわい

■ 竹島は「天地がひっくりかえっても」日本領である

「史実を世界に発信する会」茂木弘道 韓国の李明博大統領は去る4月1日の記者会見で、「(竹島は)天地がひっくり返っても我々の領土だ」と述べたという。

韓国が竹島を固有領土と主張する根拠は、『三国史記』という古代朝鮮のことを書いた歴史書(1145年成立)に鬱陵島の隣にある于山島が新羅の領土と書かれているところと帰着する。

その後の史書にもそれと大同小異のことが書かれている。4〜5世紀から韓国領だったというのである。

私の出陣式

呉市議会議員 岡崎源太郎

我陣営は17日に出席式を行いました。国会議員二人からの激励電報披露の後もう一つ電報を披露しました。

「皇国の興廃繫りて此の征戦に在り、粉

ところが、古地図では于山島は鬱陵島の西に近接している。竹島は南東92キロにあるのだから、于山島が竹島であるはずがない。こんな分かりきった事実があるのに、何故韓国人々が于山島は竹島だと主張するのか。

その理由の一つは、竹島と鬱陵島の周辺の小島の呼称がいろいろに変わってきたためである。現在の竹島は以前松島と呼ばれ、またリャンコ島と呼ばれたりした。また鬱陵島の近辺には、竹島(竹嶼)など小さな島が存在している。これが于山島であったものと考えられる。

李氏朝鮮時代の地図には、鬱陵島より

偏研身各員其の任務を全うせよ」

連合艦隊 赤城

この後宣伝カーに乗車し、マイクを使わず海軍墓地に向かいました。大和の慰霊碑で線香を焚き、「日本人として立候補できるのは英霊皆様のおかげです。美

90キロも先の島のことなどただの一度も登場したことはないのだ。それどころか1889年の『大韓地誌』にも、鬱陵島より東は地図にでていない。

考えてみれば当然のことだ。李氏朝鮮時代には鬱陵島すら空島政策によって居住が禁じられていたのだ。それよりはるか先の島のことなど彼らの関心の外、認識外のことであったのだ。

日本では徳川幕府から大谷、村上両家に鬱陵島への渡航許可が与えられ、漁採が行なわれていた。ことを紛らわしくしているのは、鬱陵島のことを当時日本側では竹島と呼んでいたことである。

しかし竹島への行程の途中に松島が、「現在の竹島」の位置にでてくるので間違いはない。単に呼称の問題である。

しく立派に戦います。」と宣言をした後、海軍墓地にて第一声をしました。

もちろん宣伝カーには軍艦旗を積んで走ります。たすきにも軍艦旗がプリントしてあります。



上；ニイタカヤマノボレーニ〇八
下；大和の慰霊碑前で最敬礼の源太郎議員。

歴史的な事実以上は以上の通りであるから、韓国の主張は全く根拠がない。従って、1954年9月25日に日本政府は、この問題を国際司法裁判所に付託することを提議したが、韓国政府は応じていない。「天地がひっくり返っても、われわれの領土だ」というなら何故国際司法裁判所に堂々と出ないのだ。

実はサンフランシスコ条約で、日本の領土が規定される前の、1951年に韓国はアメリカ政府に対して、日本が放棄した領土には竹島(独島)が含まれるべきであるという要求を正式にしているのである。ところが、この要求に対してラスク国務次官補は1951年8月10日付の梁韓国大使宛書簡で、はっきりと次のように答えている。

「独島、又は竹島ないしリアンクール岩として知られる島に関しては、この通常無人島である岩島は、われわれの情報によれば朝鮮の一部として取り扱われたことは決してなく、1905年頃から日本の島根県隠岐支庁の管轄下にあります。この島はかつて朝鮮によって領土主張がなされたとは思われません。」

これは大変だとばかり、サンフランシスコ条約が発効する1952年4月28日の3カ月ほど前の1月18日、急遽李承晩ラインなるものを強引に設定して竹島を韓国の支配下に編入した、というのが「天地がひっくりかえっても変わらない」歴史事実である。

(2011・4・27)

気のせいか鯉のぼりが少ない

M情報 増木直美

今年鯉幟が極端に少ないと思いませんか。ナマスが暴れたから連座(?)かな。

知事選秘話

三重県 鈴木英敬氏の巻

三重県津市 松谷祐子

序章

昨日は、人生最良の朝を迎えさせていただきました。約40年に渡って続いていた、日教組抱え県政に、一応終止符を打つことが出来、感慨無量です。

新知事となるすぎ英敬さんとは、約2年前に知り合いました。彼は安倍政権下、官邸スタッフとして山谷えり子参議のもとで教育再生に取り組んだ後、三重県第二選挙区から、所謂「落下单候補」として、平成31年の総選挙に出馬しました。しかし、未だかつて無い逆風選挙だったため、惜しくも落選しましたが、臥薪嘗胆で地道な活動を重ねておりました。初対面の折の英敬さんの印象は、「やたら元気な兄ちゃんやな。よく三重県にきてくれたもんや。頑張って当選してほしいけど、二区では逆立ちしても無理かな。」でした。それほど三重県第二選挙区は、民主党が不動の議席を確保していたのです。衆院選後から知事選まで、英敬さんは地元で仲間作りを進め、支援者の発掘、支持の拡大に努めておられました。そして本年2月4日、知事選への出馬表明。

彼の出馬には心底驚きましたが、実は此の度の知事選を目指して、私は昨年から密かに準備を進めておりました。まさか英敬さんが出馬するとは、これっぽっちも想像しておりませんでした。結果的には僅かでも彼のお役に立てたかも知れないと思うと真に嬉しい限りです。

参院選での敗北を受けて

昨年夏の参院選は、一昨年の総選挙とは反対に、民主党への逆風が吹きました。政権交代後の一連の不始末に、国民が怒りを感じていたからでしょう。

しかし、我が三重県では逆風は吹かず、自民党候補、小野崎耕平さんは落選しました。当選した芝博一は、参議院の野次将軍と呼ばれていて、日教組のドンである奥石東の腰巾着でした。

県議から参院選に出馬する際、県議時代には批判しまくっていた三教組に、平身低頭で支持をお願いした芝という男は、許しがたい「大变節漢」です。芝の母校である皇學館大学では、卒業生中ダントツの恥さらしまで言われております。地元での評判も芳しくなく、鈴鹿市の女性県議と不倫の噂まで流布されておりました。その女性県議は、芝との関係が原因で離婚しております。

これほど悪評判の芝ですから、逆風を諸に受けて参院選で落選、晴れて小野崎候補が当選を果たすだろうと、誰もが期待をしておりました。小野崎さんは福祉政策に詳しく、近い将来、少子高齢化のモデル県になりそうな三重県にとって、国政に送り出す必要がある候補者でした。

私も小野崎さんには、何としても当選していただきたいと思い、支持をお願いに歩く日々でした。小野崎落選という真に残念な結果を受けて、私はこれまでの後援会頼りの選挙運動だけでは、当選する事が出来ないと感じました。一昨年の総選挙の時からその疑問は頭を過ぎり、

参院選で確認したのです。無党派層の支持を得ない限り、得票数は増えないのです。後援会という組織の限界を垣間見たように思いました。

これからは、従来の後援会組織とは違う別動隊で、日頃から選挙を睨んだ活動を展開することが必要だと思いました。また、候補予定者は選挙の時だけでなく、日常的に街頭で繰り返し演説するとか、ビラのポスティング等で名前の周知や政策提言を行い、無党派層の支持を掘り起こしておくことで、短い選挙戦を有利に闘うことができると思っています。得てして落選した候補者は落胆が大きいので、その後の支援者回りもせず、自然消滅してしまうことが多いのですが、その態度も次の選挙につながらないことになってしまっています。

そこで私は、今後の選挙のため、以下の三点に絞って、働き掛けをしようと思いました。

1. 次の選挙を想定し、早期に支持者を確保すること。
 2. 政治に無関心な人に関心を持って貰えるよう、働き掛けを続ける。
 3. 幅広い人間関係を構築する。
- 要するに、ノンポリの人と親しくなると、その人が関心を示す話題を通じて、選挙の際に協力して貰えるような人間関係をつくっていくことです。

私は早速、次の選挙戦である統一地方選挙を想定した動きを始めました。民主党政権となつてから、私は「打倒民主 桜組」という組織で定期的に街頭活動をしており、また地元三重県でも伊勢神宮内宮周辺で定例活動を始めました。

その際の演説のなかで必ず、統一地方選挙のことを話題にして、「来る統一地方選挙は、次の総選挙の前哨戦」と位置づ

け、「日本の国柄や国益を守るのか、守らないのか、既得権益にしがみつく人を選択し続けるのか、政治家だけに任せていては国を守れない時代が到来した。政治に関心を持ち、日本の将来を憂い、現状を打破することが次世代の最良のプレゼントとなる。」と、繰り返し訴えました。また街頭だけでなく、友人や知人達にもそのことを提案し、賛同者を増やすことに努めました。

津市の市議一名、県議二名も共感してくれ、情報交換することが多くなり、そのなかで得た情報は驚愕させられることもありました。

例えば県議会では、初めに結論ありきで、芝居がかった質疑応答が繰り返されているだけの「馴れ合い」で、議論らしい議論はここ数年行っていないことや、津市議会では市長が無能で、行政は二人の副市長で切り盛りしていること、質問すらまともに出来ない者が市議を務めていることも知りました。

三重県民の血税は、議会議論を尽くさずに使われてきたという事実を改めて知り、真に忸怩たる思いでした。民自相乗りの知事選を続けてきたことが、「馴れ合い県政」の大きな原因となっておりまして。来る統一地方選では、対立の軸がハッキリした選挙戦で知事を選ばなければならぬと考えましたが現職である野呂知事は磐石の態勢で、有力な対抗馬が出る可能性は、まったくありませんでした。当時の私は、度々伊勢の両宮に参拝し、かかる現状を改善することができまうようにと、ただただ祈るのみでした。

天の助けか、不祥事発覚！

祈り続ける毎日を送っていた私に、思

《8頁に続く》

赤い政権

警察も反日・左傾化

強まる保守弾圧の動き

“車庫飛ばし”で逮捕・拘留

「車庫飛ばし」の微罪でいるのは事実であり、処罰大阪府警に逮捕・拘留されたのは、大阪で学習塾を経営する傍ら、日の丸・君が捕・拘留の必要性があったのか。代に反対するなど教育崩壊

の元凶といわれる日教組教育の偏向を正し、健全な子供達の育成を願って運動を行っているM氏。罪名は、平成22年10月20日に逮捕され、9日間拘留され29日に釈放された。M氏によると、この間、車庫飛ばしの

【電磁式で正証書原本不実記載罪】 政党が選挙活動のために、体のない住民票を移したり、生活保護費を不正受給するため偽装離婚した時などに適用される罪名である。

取調へは2、3日たいで残りの期間は関わっている運動に関することばかりだったという。さらに、車庫飛ばしとは何の関係もない運動上の知り合いの公立受審校教諭宅や、活動仲間宅に

逮捕容疑は、平成17年大阪に住んでいるM氏が居住する予定もないのに実家のある福里に住民票を移し、そこで自動車の登録を行った。車庫飛ばしと動いたもの。法律に違反して動の実態を解明するため

要するに、警察としては車庫飛ばしなどどうでもよいのである。M氏の政治的動機を明らかにすることが目的である。

もろ方入れ（家宅捜索）が行われた。

ピラ、名簿などの資料が欲しかったのだらう。

通常、この種の形式犯での逮捕・拘留などあり得ない。しかも、「共謀」とい

そのM氏 今年1月12
にも大阪府警南警察署に拘
捕された。今度の容疑は1
年前、自動車自損事故を
こし、保険会社より職業

う理由でD氏の妻まで逮捕・拘留している。法律の適用には一定のルールがあるが、その一つが法の普遍的

料理人と偽って休業補償36万円を詐取したとして、2月1日、不起訴罪放免で釈放された。

適用。つまり、法律は万人に等しく適用し、地位の下や資産の多寡で決めてはいけない。ある人には適用し、ある人には適用しない、ということとは許されない。

昨年の10月、今年の

「在特会」
倒閣運動

送会社などが摘発されたケースは過去にあったが、一般の個人が車庫飛ばしで捕まったことなど聞いたことがない。今回のM氏の逮捕・拘留は、法の普遍的適用に重大な疑念が生じる。

と相次ぐ不自然さを感じ、逮捕から見えてくるものだけについて、「在特会」潰しと政権権威を繰り返す倒閣運動への力と見て間違いないと語られる。「在特会」(在日市民を許さない市民の会)と

「在特会」潰し？
倒閣運動へ圧力？

長で、休業補償の対象にな
り、料理人など職業を偽
る必要はない。
しかも、今回のまた担当
は詐欺担当部署の「捜査2
課」ではなく、「警備総務
課」。これら「連の動きか
ら」その狙い、目的が見えて
くるようだ。

活動に使用「朝日新聞」
（休業損害をたまに取
る）として、詐欺容疑で有特
許元関西支長M容疑者を「連捕
（産経新聞）」などとして、
各紙とも在任会長の幹部にあ
ること、連任車両が右岡田
体の街宣車あることなど強
調するかのさうな記述。

しかし、M氏によると、年ほど前の一時期、半年くらい、在特会の関西支隊長をしていた時期があったのは事実だが、それ以降、在特会とは運動に対する考え方も違い全く関係ないという。

国人や朝鮮人の特別永住資格は「特権」であると批判し、その根拠となつてゐる「入管特例法」の廃止を目指している。民団体のことで、全国各地でデモ活動などを続けている。
 もう一つの目的は、学園運動の圧力。今回の事件は、M氏の生活上での事犯と見做される。それにもかかわず、私生活上全く無関係公立学校教諭宅へガサ入り

民主革命政權の思想統制
国民監視は始まっている

活動仲間であるから、活動
を行っていること、教団は
その事件なら、M氏の師で
ある教団に対して「救世」
を理由にガサ入れがわから
ないではないが、今回の事
件に關しても、私生活上も
教団は何の關係もない。

同様に活動仲間、「打倒
政權は何の關係もない。」

「教組」幹部宅に
もガサ入れ。打倒民主！
「打倒民主」は、全国各地で
「打倒民主」を訴へてモト
動などを展開している。こ
の幹部も、今回のM氏の事
件には全く無關係である。

今回の一連の事件は、現
政權の意を及んだ警察庁の
動き、「在日特權」許さず
指示を要請で、大阪府警
の市民の会「イコル」
「社会的集團」ということ
新聞等でアピールしたとな
ったと考えられる。保安
隊が選挙に負け、左翼
権は変わったといふこと
ある。

赤い政權 民主主義政權
思想統制 国民監視は今一
に始まつた。今年1
23日、北沢俊美防衛相直
に、防護部隊「自衛隊」を報
知し、陸上自衛隊の
の佐藤正久自民党参院議員
の講演会に潜入し、現職
の衛官の参加状況を監視し
てゐる。

の自由を侵害する監視活動
との指摘が出てゐる。
警察による思想調査もす
に始まつた。警備と
して、保衛派の集会に来
て、誰がどんな発言をし、
どんな人間のか調べてゐ
る。市民活動の顔写真
を。本籍、兄弟関係、預
貯金、借金の額、結婚暦
を。自衛隊にも左翼的考

命政權は、防衛省職員より
の講師から「保守派」
はずしてゐる。つまり
等は、自衛隊を国を守る
軍ではなく、政權を守る
察予備組織として利用
よとしてゐるのだ。
自民党にも左翼的考

韓国 竹島沖に構築物建設計画 公表せず抗議もしない民主政権

保証されている思想・信条
その他多額の「借費」を
つくに収集していると言
左翼組織は警察、自衛隊
人間がいる「確信犯」な
命をやろう」と考えてい
頭を切り替えなければ
となない。

韓

国 竹島沖に構築物建設計画

公表せず抗議もしない民主政權

竹島はわが国固有の領土であるにもかかわらず隣国が不法開港場を続けている。だが、民主党政権は韓国配の配慮から、「不法占拠」と明言すること避けてきた。このように民主党政権の足下を見逃かしたかのように、韓国竹島の不法占拠をさらに強化する動き強めている。

昨年、韓国海洋研究院が竹北西1.9°の沖に、『海難事故基地』なるものの建設を計画していることが明らかになったという。基地は地上15階建て、相当のリポートを備え構築物を、竹島近海の世界観測を行うと共に、実効支配の強化を目論んだもの、しかし、この情報を韓国側の国内報道から手に入れられなかったのか、工事契約の発注がトツプしていた。

ところが、今年1月24日の『建経経済新聞』及び1月の28日毎日新聞（いずれも韓国紙電子版・韓国語）の報道によると、韓国海洋研究院は、月24日、海洋科学基地の建設工事の契約締結を調達に依頼、これを受

けて間もなく入札を行う予定と云う。これが事実すれば、わが国の領海の構造物が新たな建設行為となる限り、重大な権侵害となる。

わが国にとって見逃すことのできないう重大問題にもかかわらず、民主党政権が何もせず、事態も明かされず、世間はほとんど報道しない。

強まる保身弾圧 その2

■ 選挙違反 自民当選組みより続出？

選挙違反は今まで「落選組みから」と相場が決まっていた。それが良いか悪いかは別にし、当選した、しかも自民からこれだけ多くの選挙違反が摘発されたことはないと思う。警察の、赤い政権への忠誠心が増々高まっているのだろう。

○ 選挙違反：福井県議ら逮捕 供応買収容疑 毎日新聞 4月25日(月)

・・・、自民党公認で当選した県議、T容疑者(65)と、運動員の会社役員、・・・公職選挙法違反(供応買収)容疑で逮捕した。

○ 愛知県議選：M氏の運動員 買収容疑で逮捕 毎日新聞 4月25日(月)

・・・県議選で・・・8選を果たしたM県議H自民公認、・・・Hの選挙運動を手伝う見返りに現金を渡したとして、・・・牛古国夫容疑者(69)を公選法違反(買収など)の疑いで逮捕した。

○ 運動員買収容疑：当選県議の65歳母親を逮捕 兵庫県警 毎日 4月25日 西宮市選挙区で当選したK県議(41)

H自民Hの運動員に報酬を渡したとして、・・・、K県議の母、久子容疑者(65)を公職選挙法違反(運動員買収)で逮捕した。

○ 公選法違反：容疑でK陣営運動員を逮捕 県議選 / 岡山 毎日 4月25日

・・・選挙運動の報酬を支払う約束をしたとして・・・、東区選挙区で再選した自民党のK県議(58)陣営の車上運動員で・・・を公選法違反(買収の約束)容疑で逮捕。

○ 公選法違反 H大府市議を逮捕 供応買収容疑 毎日新聞 4月28日

・・・市議選で当選したH容疑者(69)H自民Hを公選法違反(供応買収)容疑で逮捕。

わぬ朗報が飛び込んできました。それは、昨年8月28日の夕方のことでした。「野呂三重県知事の長男、覚醒剤売り渡しで逮捕！」

昨年の夏は猛暑で、お盆を過ぎてても尚、残暑厳しい日が続いておりましたが、この日はかりは思わず暑さを忘れてしまう程でした。家族で夕食の膳を囲んでいたとき、そのニュースが流れました。

私は箸を投げ出して、急いで知り合いの県議の携帯に電話をかけました。しかし、県議達は奈良県で開催されていた全国県議会議員親善野球大会に参加中で、その夜は大宴会の真っ最中でした。

電話がつながっても一杯機嫌の県議には、県議会を揺るがす大事件が起こったことを理解できていないようでした。

次に地元の国会議員の秘書に電話をかけ、事の次第を報告し「次の知事選には自民推薦の候補をたてるよう、K代議士に伝えてほしい。まだ選挙までに1ヶ月あるが、準備は早い方がいい。野呂の続投はないだろうし、後継候補の擁立も阻止して、準備万端で県政を奪還しよう。」と持ちかけました。その秘書は「これは絶好の機会だ。早速代議士に報告する。その時には全面協力してくれるね?」と、私に念を押しました。

私はかつて自民党員だったのですが、いつまでたっても「自主憲法」を制定するための現実的な動きをしない自民党に腹を立てておりました。また、地元選出のK代議士は、平和ボケの谷垣グループに所属、親中派の筆頭ということもあり、私は地元での政治活動に嫌気がさしてしまい、自民党とは決別しておりました。しかしこんな時、有力な候補者を出し、資金面でも充実した選挙戦ができるの

は、自民党しかないというのが現実です。私はその現実を踏まえて、心中では悔しい限りでしたが、K代議士の力に頼ることにしたのです。

早速K代議士は「野呂知事の辞職を要求し、前倒して知事選をする。」と、何かと野呂県政崩壊である地元紙に喧嘩を売りに行ってくれました。県議会も大混乱を来しましたが、知事の辞職に反対する県議も多く、私の計画通り、任期満了後の知事選となりました。ただ、肝心の候補者選に難航し、いろんな名前が出ては消えの繰り返しで、やっぱり知事選に候補者を擁立するのは無理なのかと、関係者の間で諦めムードが生じた時期もありました。でもその間、私はずっと「次の知事選に自民推薦の候補が出るから、県政を刷新するため協力してください。」

伊勢神宮のお膝元である我が県が、ずっと労働団体主導の県政でいいのか?保守系知事を誕生させて、平成20年の式年遷宮を清々しい気持ちで迎えたい。」と、いろんな人をお願いに歩きました。

理解を示してくれた人、中には無関心な人もいましたが、私に圧倒されたのか「何かわからんけど、知事選は貴方が推す人に投票する。」と約束してくれました。そして「式年遷宮のお祭りに相応しい保守系の知事を誕生させよう!」というスローガンのもと、候補者が選定されていないにも関わらず、私は個人的に知事選の準備を進めました。

県議の中には、自民系のくせに野呂知事の続投三選を支持する者があり、自前候補の擁立に難色を示し、非協力的でしたが、そこは古株のK代議士が締め付けをしてくれました。対立する民主党はと言えば、県議会を様子見して、野呂三選

の絵図を描こうとしており、こちらも選挙となった場合を想定した候補者選びをしておりませんでした。

平成22年の秋、第二選挙区選出の中川まさる代議士を擁立しようという動きがあるらしいとの情報を掴みましたが、その後、岡田克也の猛反対で中川擁立は沈んでしまいました。その間も問題の野呂知事は、出処進退を明らかにすることなく、知事職に就いておりました。

一方、自民党はと言うと、特定の候補の名前が挙がる事すら無く、心細い毎日でしたが、私は一縷の望みを捨てず、グツと堪えて支持者を募って歩くことに専念しました。支持者を募ると言っても、誰か擁立されるかは未定であり、こちらの一方的なお願ひにも関わらず、協力を約束してくれた方々が多数おられたことは、涙が出るほど有難かったです。

私はこの間、誰もが変革を願って、県政刷新を思い描いているのだということを改めて思い知りました。

今はまだ、候補者が選定されていないのですが、そのうち立派な人が名乗りを挙げてくれるだろう、その候補に県民が希望を託してくれば、必ず民主系候補を打ち破ることが出来るに違いないと確信しました。また、必勝のための秘策として、共産党に知事選の候補者を出させる必要がありました。なぜなら、民主の支持母体である三教組から出る票を喰うのは、共産党の候補者だからです。出来れば民主系候補は、三教組から嫌われている人がよい、そうすれば三

教組の票が、かなり共産党へと流れるのです。それで私は、共産党の俄か支持者となり、同党市議や県議に「次の知事選にはそれに相応しい候補を出して、反民主・反自民層の受け皿となってほしい。」と、一県民としての意見を届け、知事選挙の協力金として、共産党系の病院に向き、匿名で一万円、寄付しました。そうこうしているうちに、一月末には野呂知事が三選不出馬を表明、後継指名もしないと断言しました。

それを受けて、本格的に候補者選

びを始めた民主党から、舟橋ひろゆき県議の名前が出ましたが、それは本人が固辞して年明けには消え去り、すぐさま高橋千秋参議院議員の名前が急浮上しました。私は思わず、ほくそ笑みしました。



H22-11-8 四日市駅前 鈴木英敬氏、『桜組』と一緒に街頭演説

トントン拍子に事が進む

高橋千秋参議院議員が知事選候補として名前が挙がったという情報を得て、私は心の底から喜びました。(実は、予備知識として、岡田は中井が大嫌いなのです) 知事選候補には、松田直久津市長を推す一派があるにも関わらず、中井蛤衆議院議員がそれに横車を押して、高橋議員を推しているという「裏話」を聞いていたからです。

はじめは松田が有力だったそうですが、高橋の名前が表に出るということは、県内の民主系が二つに割れることを示唆しており、何れが知事選に出馬しようが、民主系が知事選で一本化しないことは確定したわけです。しかも私は、高橋議員が知事選に出馬できない理由を知っておりましたので、彼は必ず知事選出馬を断るだろうと予想してました。

その頃、すずき英敬さんが知事選出馬に名乗りを挙げられました。私は大変驚きましたが、でもこれまでの動きが彼のためになるかも知れないと思ったら、もっとやる気が出てきました。私の予想は的中し、高橋は出馬を固辞、かくして松田津市長が知事選に出馬することになり、あまりにもトントン拍子に事が進むので、嬉しさを通り越して怖い位でした。しかも共産党は、私の期待通り、岡野恵美が出馬表明を致しました。

松田が擁立されるなら、三教組の票は少なからず岡野に流れ、僅差であっても英敬さんに勝ち目が出てきました。

松田、岡野両候補について

知事選候補、すずき英敬さんの対抗馬、民主系松田直久前津市長ですが、その経歴があまりに酷いため、なぜこんな奴が

津市長だったのだと、大きな疑問を抱かれるかと思えます。

松田は大阪産業大学卒業後、奈良県内で露天のたき焼き屋をしており、その後郷里である三重県一志郡一志町に戻り、ラーメン店を営んでおりました。そのラーメン店の経営が思わしくない時、当時衆議院議員だった北川正恭に声を掛けられ、私設秘書となりました。

当時北川は、自民党所属議員だったのですが、私は北川の本性をよく知っておりま。現在、早稲田大学院教授で、朝の報道番組にコメンテーターとして出演し、改革派の旗頭のような顔をしている北川正恭ですが、何を隠そう、この男はまさに利権の権化でした。ゼネコンから裏金を搾り取ることに熱心だった北川は、露天商あがりである社会との付き合いがある松田を、秘書とは名ばかりのゼネコン回り専門、すばり集金係として雇用したのです。言葉巧みで愛嬌者の松田は、北川の期待通りゼネコンを纏めあげ、その論功行賞として北川の協力支援を受けて県議となりました。北川の秘書時代、この男には常に悪い噂が付き纏っておりまして、あくまでもうわさですが。

・アジア系外国人に偽装結婚の斡旋をしている。

・共済関連の詐欺事件に関して書類送検される。

・知人女性を無理やりラブホに連れ込み、強姦で訴えられるも、金を積んで示談で済ませた。

・前妻とはDVが原因で離婚。

・失踪した同僚秘書一家は、実は松田が裏社会に手を回して始末した。

・中学生時代、自転車やバイクを常習的に盗んで転売していた。

ざっと書いても以上のような、代議士秘書には相応しくない噂ばかりでした。

やがて親分の北川は新進党に移り、県知事選に転戦、二期八年つとめた後、三重県をトンスラしております。知事就任中は利権を欲しいままにし、ばれそうになったから三選目出馬を諦めたということは、政治に関心を持つ三重県民なら、誰もがよく知るところです。

平成18年、津市が10市町村の大会併を果たし、市長、市議選が行われた際、市長候補に自民系が二人出馬したため、保守票が割れてしまい、松田が「漁夫の利」のような形で当選してしまいました。元々自民は、K代議士の元秘書という経歴を持つM県議一本でいく予定でした。私もM候補の運動員として召集され、遊説を担当することが決定しておりました。ところが選挙戦間近になって突然、K代議士から「O市議を市長選に擁立し直すから、今後はOさんの応援を頼む。」と言われました。私としては、Mさんが何らかの事情で出馬出来なくなったため、Oさんが出るのかと思いい、Oさんの応援準備を始めたら、Mさんから「A市議に嵌められ、K代議士に掌を返された。しかし市長選には出るから、どうか最後まで応援してほしい。」と懇願されました。このA市議というのは、自民党市議の最古参で人柄の悪さには定評がありました。口と立ち回りの巧さだけで議席を守っている、誠実さなど欠片もない男でした。思い悩んだ末、私はMさんの熱意に打たれ、無報酬を承知で応援を引き受けたのですが、残念なこと

松田直久の3,388票

M候補 46,846票

O候補 37,050票

と言う結果となり、松田市長が誕生してしまっただけでした。

その4年後の改選では、共産党が岡野恵美候補を擁立するも当然落選、またまた松田は、運よく二選を果たし、自民党に至っては候補者を擁立することすら出来ない体たらくでした。

ここで岡野候補の名が出てきましたので、次は彼女の紹介を致しましょう。

岡野恵美候補は、共産党系病院の看護師出身で合併前は津市議でした。市議引退後は、ジェンダーフリーを提唱する女性団体の役員をしており、いかにも退職教員が好むタイプの候補者でした。

しかも彼女は、昨年の市長選では松田と一騎打ちで戦っており、その折に三教組は、退職教員が中心となった共産党、岡野支持派と、民主系松田を推す執行部が睨み合いになったと聞いております。その遺恨は、約一年後の今も解消されず、知事選でも再燃する様相を呈しております。なぜなら三教組の一部に、北川知事に対する恨みが残っているからなのです。三教組は北川県政時代、「鉛筆年休」という姑息な手法で、勤務時間内に組合活動をしていることが明るみになり、「寄付金」という名目で県に多額の弁済をする破目になっておりました。そのことを逆恨みしている教職員は、北川の秘書だった松田に嫌悪感を持ち続けております。民主系候補は三教組から嫌われている者、共産党候補は三教組がシンパシーを感じる者という、私の願いは叶えられませんでした。

決戦へ

民主系松田直久津市長、共産党岡野恵美、そして我等が鈴木英敬さんと、知事

選に出馬する三候補が出揃い、決戦のときを待つ日々のなかで、私は素晴らしい情報を手に入れ、有頂天になっておりました。その素晴らしい情報とは、松田候補に関するものでした。しかも入手先は、津市役所関係者でした。

松田候補の経歴が酷いことは前の日記で書きましたが、それらの悪評はあくまで噂話の域を出ず、選挙戦の最中では誹謗中傷、所謂「怪文書」と受け取られがちです。また、発信元は英敬陣営と、有権者からそう思われたら却って不利になります。

しかし新しく得た情報はその経歴を裏付ける類の内容であり、しかも動かし難い事実なのです。ではエッヘン、その素晴らしい事実をご披露いたしましょう。

無能な松田市長には、役所内を束ねる〇副市長と国のパイプ役N副市長という二人の補佐役がおりました。そのうちの一人が我が夫の友人の兄でした。

以下は、夫の友人から聞かされました。

「松田は本当に前科者なんだよ。ニューヨークで飛行機の乗換えを拒否され、ブラジルにある友好都市を訪問することが出来ず、日本に舞い戻ってきたんだ。空港で『私は日本国三重県津市の市長だぞ!』と息巻いても、アメリカにかかったら『それがどうした? ゴーバック!』ってなわけで、一旦帰国後、慌てて今度はカナダ経由で再渡航、三日遅れて現地に入ったんだって。渡航経費は倍以上かかるし、まさか犯罪歴で引かなかったなんて言えないから、市長は急な発病で到着が遅れたと言って誤魔化すのに、兄は随分苦労したんだ。」

友人は「これは誰にも言わないで。極秘で!」と言ってたが、私はすかさず「余

分にかかった渡航費用は、市長の自腹ではなく、我々の血税から支出したのだから、極秘になんか出来ない。こんな人を県知事にしたら、海外へ行くたび、税金の無駄遣いになる。あんたがその分の銭を出すのなら誰にも言わないが、そうじゃないのならこのネタは、私が好きに使わせてもらう。気に入らないなら、ネタ元はあんたの兄さんやと言いついて、県内隈なく言い降らすでえ。まあ、心配しなくてもこんな美味い話は、何処からともなく漏れるだろうから、あんただけが悪者になる可能性は、100%無いわ。」と脅しも入れながら宥めて、流布することを承知してもらいました。

私は本来、心優しい女(?)なのです。が、知事選に落選したなら英敬さんは、三重県第二選挙区から衆院選に再出馬することも出来なくなるので、英敬必勝のためなら夫の友人とは言え、こんなおっさんの一人ぐらい、人間関係が壊れてもええわい、「保守系知事誕生」という大義のため、仕方ないとも思いました。

その後この話を広めるため、知人友人のみならず、出会う人すべてに言いふらしました。ネット内で流れている情報より、私がネタ元をバラして話すほうが信頼性があり、聞いた者は皆、驚き、そして必ず「こんな人が知事になったら困る。」と言いました。

私はこの手のネガティブキャンペーンを推し進めるため、英敬さんの選対には決して近付かず、あくまで一般の支援者という立場を保ちつつ、県内遍く喋り歩きました。またこの情報をすでに知っている者もあり、それらの方々に協力して貰いながら、「松田候補を県知事にさせない運動」をしました。

そしていよいよ、選挙戦へと突入。

告示の次の日から期日前投票ができるので、私はそれを最大限、有効利用しました。しかし松田陣営はと言つと、どうも全力で戦っているように思えないのです。ここは敵陣の情報を探る必要があると考え、岡田克也の後援会関係者を訪ね、「今知事選は、民主系であっても県内出身者である松田候補を推そうと思っていないのに、何か選対が上手く動いていないように思うが?」と、嘘八百を並べて聞き質しました。

すると、「知事選出馬に難色を示す松ちゃんを口説き落とすため、落選しても国政選挙で処遇するからと約束したらいい。そしたら岡田先生が中井(蛤)を除外するために利用しようと思っただけで、中川衆議からの応援をストップさせたみたいだ。だから中井が急に熱心に松ちゃんを応援し出したんだ。」と内幕を話してくれました。

この岡田の後援会関係者は、大吟醸を手土産に訪ねると心を開いてくれる、私にとっては非常に「好人」でした。

ここで補足しておきますが、岡田克也と中井蛤は仲が悪く、中川衆議とは先の衆院選で英敬さんが負けた相手です。中川は、岡田の数少ない側近です。一時は県知事候補として名前が上がりましたが、岡田が側近の中川を手放したくなかったため、中川自身は知事選に色気を出していたにも関わらず、擁立話は立ち消えになったという経緯があります。

なぜここまで、岡田が中井を嫌うのか。それは中井が小沢派の筆頭で無能なくせに小沢の威を借りて威張った態度を取り続けるからです。「虎の威を借る狐」ならぬ「法螺貝(小沢)の威を借る蛤」です。

また岡田は当初、県議から知事候補を擁立したいと公言しており、その候補とは岡田の秘書だったM谷県議でした。

このM谷県議は、自治大臣を務めたことがある自民党国会議員、山本幸雄の秘書でしたが、山本が政界を引退する際、その地盤を岡田が数億円で買い、その時に地盤とセットでM谷は岡田に引き渡されたのです。

岡田としては、長年自分を支えてくれたM谷を処遇する意味合いもあったのかと思いますが、M谷はぬるま湯のような県議会で鈍らになっていたためか、知事選に関心を示さなかったようです。

政治の世界は一筋縄で行かないのが常套ですが、ここまでややこしい三重県政の裏側を知れば知るほど、私は益々、必ずや県政を刷新させねばならないと燃えるのでした。その実現のためなら、例え地獄に墮ちようが本望であると思っておりました。

最終章

彼方此方で松田候補の渡航事件を言い回る日々の中、4月9日にまたまた、英敬さんに有利な情報を得ました。

三重県四日市市にある建設会社から、福島原発事故の対応策としてアームの長い圧送車が派遣されたことは、記憶に新しいと思います。圧送車派遣の段取りをつけ、経産省を通じて東電に協力の申し入れをしたのが英敬さんだったため、民主党岡田サイドが圧送車の手配を遅延させていたという記事が週刊Pに出ました。私は早速、週刊Pが書店に並ぶのを待って、その記事をつ〇〇部、拡大コピーして不特定多数の人に配布して回りました。

記事に目を通した人は皆、「これは酷すぎる。でも鈴木候補ってまだ若いのに、こんなにも人脈があるんだね。」と、民主党岡田サイドへの批判より、英敬さんの実力を評価してくれました。彼には政治家としての実績はありますが、官僚時代に築いた人脈、またやり遂げた仕事実績として評価に値するんだと気付いた私は、直ちにそれを有権者に知らせなければならぬと思いました。

そしてこの記事を配布する傍ら、ハーゲンダッツのグリーンティーアイスを「これはさすが英敬候補が経済産業省の官僚時代、ハーゲンダッツ社に日本の緑茶を売り込んで製品化されたものですよ。アイスクリームの濃厚な甘さが緑茶で緩和され、非常に口当たりのよい味になってます。ぜひ食べてみてください。」三重県には多くの特産物がありますが、さすが英敬が知事にならせていただいたら、きっと東国原さん以上にそれらを海外に売り込んでくれると太鼓判を押します。」と、知り合いの中の「無党派」の人に紹介して歩きました。それらの人も皆、「へえ、鈴木さんってたいしたもんだね。何か期待が持てるなあ。」と言ってくれました。その言葉を受けて私は、「では、ご家族揃って期日前投票に行ってください。」と頼みまわりました。

また、昨年の秋から知事選のために支持者拡大に努めてきた甲斐あって、共感、賛同してくれた人が皆、期日前投票を済ませたうえ、支持の拡大にも協力してくれました。大部分の人が、所謂「無党派」で、政治に関心が低く、自民と民主の違いもよくわからないような人たちでしたが、英敬さんの若く洗練とした印象に好感を持ってくれたようでした。

自民党本部も大物議員を続々と応援に寄越してくれました。しかしこれには、少なからずデメリットもありました。

英敬さんは「しがらみのない県政」と訴えていたのに、自民とのしがらみを有権者に連想させるからです。早速、相手陣営は「さすが候補は自民とのしがらみだらけだ！」と突いてきました。

どうせなら、小泉進次郎さんを投入してもらって、「はいはい、それが何か?」という開き直りをする方が得策かと考え、自民党三重県連では埒があかないと、直接党本部に直訴したり、これまで献金をしてきた国会議員の先生がたに電話やメールでお願いしました。4月5日の夜遅く、現在要職に就いている衆議院議員、Aさんから「独自の世論調査で、さすが候補が相手候補と並んで、追い抜く勢いだ。一気に勝ち抜くため、こっちは頑張るからもう一押し運動を!」と連絡を貰いました。そしてその翌日の夜、地元K代議士秘書から「最終日に進次郎さんが来るようになった。」と連絡がありました。現在の自民党で、進次郎さんはまさに最終兵器なのです。その効果にケチがつかないように、勝ち目のない候補の応援には出さないのです。

英敬さんが有利な選挙戦を展開していること、このまま突き進めば当選間違い無しと確信しました。

そこで7日からは、常に勝ち馬に乗りたがるタイプには「英敬は必ず勝つ!」と断言し、「県政に新しい風を送り込むお手伝いをしてほしい。」と頼み、情の深いタイプには「この知事選で負けたら、英敬は政治家への道が断たれてしまう。有能な若者を朽ちさせることのないよう助けてやってほしい。」と、支援の頼みかた

を二通りに分けました。

そして迎えた、4月10日。午前中いっぱい松田候補の落選運動に歩き、午後から内宮に行き、正宮と荒御魂に参拝、月読宮四社にも、英敬必勝を祈念しました。

伊勢からの帰途、津市長選に出馬予定のSさんの後援会事務所に寄り、少しお手伝いをしていけると、顔見知りのNHKの記者と遭遇しました。その記者は私に「これはまだ言えないことですが、出口調査ですすぎさんが優勢らしいです。」と耳打ちしてくれました。更に当選を確信しましたが、誰にも余計なこと言わず、夜になって帰宅、いつも通り晩酌をしながら家族で開票速報を見ておりました。

私は常に、開票日には選挙事務所に行きません。なぜなら、この日に屯しているのは、それほど熱心に運動しなかった人が大半だからです。当選し、首長や議員になった人に「自分は熱心に運動したぞ!」と誇示し、その後何らかの利権のお零れに与ろうとする人が多いので、そんな人々が醸し出す雰囲気の中に居ると、無性に腹立たしくなってきた、ストレスが溜まるのです。

支持する候補の応援や運動をするのは、国や県、市町をよりよくするためのはず。何かの目論見があつての支援なら、それは支援とは名ばかりの「便乗」です。私は、有権者がそんな卑しい考えを持つ事こそが、政治を歪めている大きな原因だと考えているので、自分が候補者のしがらみ的存在にならないよう、選挙戦が終わったら、あまり選挙事務所に顔を出さないようにしております。

開票速報を見ながら、ネットでNHK

のホームページを開けておりましたら、11時半よりも早く、英敬さんに待望の「当確」マークが出ました。

これまでの約二ヶ月間を振り返って感無量でしたが、もうこの時点から次の選挙が待っているのです。私はさすがに深夜の電話がOKの知人や友人に電話をかけ、御礼と引き続きの支援もお願いしました。また、他府県の同志の皆さんからお祝いの電話もいただき、この夜は深夜三時過ぎになって、やっと就寝しました。

選挙戦は初陣を飾りましたが、英敬さんにとって、これから本場の闘いなのです。周囲を敵に囲まれ、特に三重県の場合は保守系県議でさえ、何時寝返るかわからない状況の中、英敬さんは「針の席」に座っての県政運営になります。

特に知事は、県庁のトップ、県民のリーダーですから、部下の批判、愚痴は溢せません。きつと、県職員や県議たちは手薬煉引いて待ちうけていることでしょう。

私は今後も後方支援につとめ、場合によっては援護射撃も必要となってくることを想定し、日本会議三重など県内の保守団体挙げて、知事の公約実現に寄与できる運動を起こしていかなければなりません。

いの一番に、児童、生徒の学力向上のため、学力テストの全県実施やその結果の公表を求める運動など、三教組が横車を押しそうなことから着手したいと思っております。

英敬さんが知事として、県民に敬愛され、県職員や県議に一目置かれるようになるまで、まだまだ私の応援運動は続きます。

西宮教組 スト謀議刑事告発続報

平成21年10月7日、兵庫県教職員組合西宮支部(日教組西宮)長、同大社小学校分会長を地公法37条(スト謀議)で西宮警察署に刑事告発、受理された件に関し、平成23年4月26日、神戸地検、斉藤一馬検事より「不起訴」の「処分通知書」が送られてきました。理由は現在問い合わせ中ですが、嫌疑十分等、こちらの納得いく回答があるとは到底思えません。予想していたとはいえ、残念です。まずは皆様ご支援いただいたこと、心より御礼申し上げます。

近々に「検察審査会」に審査請求をするつもりです。ダメ元ですが、やるだけのことはしようと思えます。当分は組合もおとなしいでしょうが、「検察審査会」は相当審議に時間がかかるので、特にその間はおとなしくしていると思います。それだけでも効果はあったのかなと思っています。引き続き戦いは続きます。ご支援をお願いいたします。 増木重夫

忙中閑あり

西村修平

さくら満開の千鳥ヶ淵にて
例年ならば、九段下から千鳥ヶ淵界隈は花見客で歩行もままならない混雑だが、今年は寂しい限りである。

なかでも、千鳥ヶ淵戦没者墓園は人気もなく閑散として哀しくなる。それでも園内のケヤキは、今盛りと萌えだした若葉のさみどりに覆いつくされ、静謐のなかにも春の息吹に満ち満ちていた。

被災者への心情的配慮による自粛だが、この自粛が復興に如何なる効果をもたらすのかはなほ疑問の限りである。自己満足の自粛が社会の“萎縮”にならないようお願いしたい。

花と風 睦み合ひつつ 空を舞ふ
はる終焉の道行きならむ
定まらぬ 軌跡のままに 落花舞ふ

わが 皇国の行く末なぞらひ
国のため 生命(いのち) 捧げしひとあり
まことのこころ 映す春の灯

処分通知書

平成23年 4月 26日

増木 重夫 殿

神戸地方検察庁
検察官 検事 齊藤 一馬

殿から平成21年10月7日付付で告発のあった次の被疑事件は、下記のとおり分したので通知します。

記

被疑者 山中 光広
氏名不詳
罪 名 地方公務員法違反

事件番号 H23-001220,001221

処分年月日 平成23年 4月 26日

処分区分 不起訴

■ カカア
我、日本!
今朝家の前、
ダックスフンドが優雅に散歩。前方から大きな犬が2匹散歩。と思いきや、チビダックスフンド、猛然と全身体で飛び跳ねながら吠え出した。デカ犬は退散!

《↓1ページ末尾より》

しかし日米安保がある限りそう易々と日本に攻撃はしてこないだろう。それでも意に介さず日本人を拉致するような国もない、そう「怖いもの知らず」の国もあるが。

そもそも日本国憲法の前文に「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼し・・」とある。中学校で習った。公正と信義に信頼するのは結構な話だが、大人になつてわかったことはどこに平和を愛する諸国民がいるのだ。日本は震災で瀕死(で

原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は、現在のところ毎月月初めに全国約2000(目標5000)部発送しております。掲載ご希望の論文、記事、情報等ございましたらご送付ください。

もないが窮状には間違いない)の状態なのに、そんなことは構いなしに、周辺隣国の日本攻撃は日々まじめに(?)あっても変わらず行なわれている。ロシア偵察機の日本周辺南下は週2回のペースを忠実に守り、中国は尖閣を脅かし、韓国は竹島要塞化に動しんでいる。北朝鮮はいうまでもない。国内であるなら民事裁判に勝てば強制執行が保障されているが、国際間では権利の担保は軍事力しかない。一日も早く平和憲法なる世迷言から目覚めよう!

活動資金(協力)のお願い

【ご支援等の口座】
郵便振替 006808245547 MASUKI 情報デスク
三養食(株) 銀行 三井中央支店 004349 普通 増木重夫

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしく願ひいたします。

○ カンパ金の主な使途は下記団体の活動の企画運営費です。

・活動の資料等の発送費・道路、公園

また、弊紙は郵メールで郵送しています。重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご希望がございましたらご相談ください。

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

- ・救う会大阪・NO! 民主「桜組」
- ・靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・米国に原爆投下謝罪を求める会
- ・大阪の公教育を考える会
- ・スパイ防止法の制定を求める会
- ・外国人参政権に反対する会・関西
- ・日教組の違法行為を追及する市民の会

◇ 竹島を奪還する会・関西
前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。